
基地問題で仕分けらるる

二等海士長

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

基地問題で仕分けらるる

【コード】

N8038J

【作者名】

二等海士長

【あらすじ】

沖繩の基地問題を、突飛な考えで解決しようと考えてみた。

(前書き)

普天間の基地問題やら事業仕分けを見ながら考えていたネタの詰
め合わせです。

2015年4月

廃線となつて使われなくなった駅舎を利用した道の駅で、私はラーメンをススつていた。

店内には他に2、3人の客が居たが静かなもので、テレビの画面で美少女アイドルユニットが跳び跳ねながら『愛、ロック、友！ I、LOCK、You!』と、歌っている声がやたら響く。

私はテレビから目を離し、棚に刺さっていた新聞を引き抜き、バサツと広げた。オッサン臭い事この上無い動作だが、この動きを格好良く表現出来れば一人前の文士だろうか、等と考えながら誌面に目を落とす。

日頃は社説から目を通す私だが、この日は真っ先に目に飛び込んできた記事があつた。

空母『ふてんま』、今日 進水

「もう、そんな時期か」

私はラーメン屋の窓から空を仰いだ。

かつて海上自衛官だった私は、その経験を元にしてネット上に小話を公開していた。そういった事情もあり、私は海上自衛隊の艦艇には興味がある。

日本国海上自衛隊、揚陸艦『ふてんま』

『ふてんま』は、一部の日本国民が、そして大多数のミリオタが待ち望んだ、日本の戦後初の空母である。

しかし、戦後初の空母というが、『ふてんま』は『ふてんま級空母』の1番艦ネムシップではない。

話は2009年の夏にまで遡る。

当時の日本は政権交代に揺れ、内外に様々な歪みを生み出した。普天間基地移設問題も、その中のひとつである。

沖縄にあるアメリカ海兵隊基地の移設問題の解決は、政権政党となった民主党にとっては優先課題だった。しかし……。

『基地問題は、来年の5月まで先送りする』

絶望したっ！

久米の漫画キャラか、お前は。と、いうツツコミを入れながら、5月まで政権が持たないだろうという予想が立つ程に支持率が下がった瞬間だった。

2010年の2月になっても問題は解決しなかった。移転先が見付からないのである。

そして、2010年3月

頭の中に蝶々が翔んでるような議員が発言した。

基地移転先が見付からなければ、機動艦隊を整備すれば良いじ

やない

2010年5月、日本はアメリカに対し、軽空母2隻と、護衛戦力及び整備施設の提供を約束した。いずれも、日本の出資によるものである。

日本はアメリカ側に強襲揚陸艦「ワスプ」級のようなものを提供しようとしていた。

大型艦艇の建造はビッグビジネスだ。不況にあえぐ鉄鋼、造船業界には朗報で、あわよくば空母の建造ノウハウも手に入る。

一方のアメリカ側は、空母を造るならカネだけ寄せ、建造はアメリカで行う。と、言った。不況なのはアメリカも同じだったのだ。

すったもんだの末、日本とアメリカで1隻ずつ建造する（カネは全て日本持ち）ことが決まり、ドック入りしていた「Iwo Jima」を参考にしての建造が決まり、3ヶ年計画で1兆円規模の予算が組まれたのが2010年9月で、GOサインが出たのは同年10月だった。

余談だが、予算会議の際に係官が「Iwo Jima」を「Iwo To」と誤記し、それを防衛大臣が「IMOTO」…いもうと…と、読み間違えて問題になった。

さて、納得いかないのは造船業界である。大型艦艇を2隻建造するつもりが、蓋を開けると1隻のみ。即座に抗議文が山のように総理官邸へ届いた。

2010年11月

日本国は海上自衛隊向けに強襲揚陸艦の建造を決定。5ヶ年計画で予算は5000億円というとてもない計画だった。

データ

強襲揚陸艦『ふてんま』

排水量44,650トン、全長258.2m、幅59.1m。

機関はガスタービン2基、7万馬力で22ノットを発揮する。

兵装として、シー・スパロー8連装×2基、RAM21連装×2基、20ミリCIWS×2基を搭載。さらに、ヘリコプター40機とVTOL機を6機、兵隊2000人も乗せる事ができる。

……問題は、海上自衛隊にはヘリコプター40機とかVTOL機など無く、揚陸する陸戦隊も無い事だった。

後に、強襲揚陸という言葉は侵略的イメージを与え、ただの揚陸に改められた。

また、アメリカ側は『ふてんま』の仕様書を見て、『アメリカ』級強襲揚陸艦の設計図を使用するように圧力をかけた。このため、アメリカ向けの2隻は『アメリカ』級の準同型艦として完成することになった。

2016年には2番艦が完成するという『ふてんま』級……。この艦は一体どこに向かうのだろうか。

『ふてんま』級の歴史

『ふてんま』

起工：2011年、3月12日。IHIMU、横須賀。

進水：2015年4月11日。

竣工：2015年10月20日。

沈没：2016年1月18日、ハムフン東方210浬地点。

北朝鮮に対する作戦行動中に韓国軍機による攻撃で大破、沈没。

同型艦『へのこ』

起工：2011年3月15日、三井造船、長崎。

2016年2月3日、日本国政府解体により工事進捗率80%で
工事中止。

2015年末から北朝鮮と交戦状態に陥った日韓であったが、行き違いにより日本国と大韓民国間の戦争に発展。2016年1月3日に開戦し、両国が争っている間に米朝間に軍事同盟が結ばれた。

2016年1月24日、アメリカは極東アジアの平和と安定の為に日韓戦争への介入を決定。同年2月1日までに日本全土を掌握、2月3日に日本を保護領とした。一方の韓国は、チェジュ島を中国が占領した他は北朝鮮に併合され、統一朝鮮が誕生したのであった。

……めでたしめでたし

(後書き)

この話しの出発点は『基地移転問題』と『事業仕分け』でした。事業だけでなく、国家も仕分けるべきではないでしょうか？ 日本って、そろそろ要らないよね。

人間が増えすぎたら、人間も仕分けられるんですかね。

今回は『先送り』には停車せず、『日本は終了しました』まで到達しました。

作者

「合言葉は『カバの汗は赤い』」

空土

「また絶望先生ネタかよ」

作者

「いやさ、タイムリーだったからさ」

そういえば、空土は士長に昇進したんだね。

空土

「定期昇進だ。馬鹿でもクズでも士長にはなれる。作者ですらな」

作者

「手厳しいなあ」

「それにしても」

空士は咳払いを一つすると、作者に向けて言い放つ。

「お前はこんな話しを書いて、反省しているのか」

「反省、ねえ。まだ友愛ボートの話が残っているからねえ」

作者の言葉を聞いた空士はゲンナリとした。

「まだやるつもりなのか……」

「まあね。友愛ボート……。せいぜいアホらしく書かせてもらおうよ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8038j/>

基地問題で仕分けらるる

2010年10月28日03時43分発行